

成田塗装大学

どうやって塗り替えが完成するのか



勉強して
わからない事を無くそう！

ググると不安ばかり
これを見ると安心納得。

1 時間目

足場工事と洗浄



家の周りに足場を組み立てて高い所も作業が出来るようにします。

この際に車庫の車やバイク、自転車の移動が必要です。

足場設置後に車が停めれない場合は別に車庫を準備する必要がある事があります。

ポイント

敷地などの影響でお隣の土地などに越境する際は成田塗装からお隣の方へ挨拶時に願います。

特に立会いは不要ですが、話の内容はお伝えするようにしております。



屋根や壁、そしてついでに駐車場の土間や塀なども洗浄します。塗装完成後に汚れた塀などが目立たないようにするので完成後は少しでも汚い場所が目立たなくなる配慮です。

※越境する塀や共有の塀は洗浄できない場合があります。

ポイント

薬品などは使わずに水で洗浄しますので、環境や植物にも優しいので安心です。

窓ガラスなどの汚れは洗浄では落ちにくいので足場解体後に念の為窓を拭いて足場解体を進めます。

この際の洗浄は美装工事とは異なります。

これから約3～4週間の
工事が始まるよ



この工程が終われば次のステップ

2時間目

養生と下地処理



窓などの塗装しない箇所や、汚れたりしてはいけない所にビニールを貼ります。養生（ようじょう）と言って床などにもビニールを敷きます。滑り止めになっていますが、雨の日などは気をつけてください。エアコンや換気扇は日頃と同じように使用できます。

ポイント

エアコンの室外機にはカバーをかけますが、前と後ろがメッシュ状（網状）になっているので通常通り使えます。

防水工事の際はその当日にエアコンの使用を控えて頂くことがあります。理由は室外機から水が落ちてくるからです



ポイント

下地処理の際は少し音が出ますので、ガシガシ音やカタカタ音が出ます。旧塗膜が剥がれている場合もこの作業で削ったり撤去したりします。少し埃の出る作業です。

金属部分や塩ビ部分に紙ペーパーなどで細かい傷をつけます。この下地処理で下塗りの付きや上塗りの着き（密着性）を高めることが出来て、剥がれなどを未然に防ぐことができます。塗装面の掃除もこの下地処理の工程になり、前後しますが作業としては大切です。

面倒な作業でもこの作業で仕上がりや、塗料の密着が左右されるよ



この工程が終われば次のステップ

3時間目

シール作業(コーキング)



サイディングやALCなどには必ず目地があります、この目地は外壁の動きを吸収する役目があるのと雨を外壁の中に入れない役目があります。

塗装工事では必須工事で、殆どの家で劣化して、水が入るような状態になっています。

地味な工事ですが、とても大切なのです。

ポイント

青い部分はボンドブレイカーと言って奥の外壁にコーキングが付かないようにする為のモノです。

外壁の切り口だけにコーキングは着くようになっていて、この2面接着という事が大切になってきます。



サッシ周囲は要注意で、撤去時にカッターを入れてしまうと中の防水シートが切れてしまう恐れがあり、よほど劣化してポロポロしていない限りは、三角シールと言って、覆いかぶせる形で施工します。意見が分かれる所ではありますが、雨漏りを未然に防ぐ為の対策です

ポイント

サッシの周りにはちみつに防水シートや防水テープが貼ってあるはずですが、

しかし新築時にしっかり貼ってあるとは限りません。

中を見るわけにもいきませんが成田塗装では万が一に備えてあえて

カッターを無理やり入れずに三角シールする理由はそこにあります。

後打ち・・塗装後にコーキングをする事 直接紫外線を浴びるので塗装より目地が先に傷んでしまう

先打ち・・塗装する前にコーキングをする事で後で塗装するのでコーキングを塗料で守る事が出来るが、目地にシワがいく事もありますが、コーキングを守る方を優先

成田塗装はコーキングは先打ちだよ。
なるべく大切なコーキングを守りたいのです



この工程が終われば次のステップ

補習

シール作業(コーキング)



ほとんどの家のコーキングの状態は劣化してひび割れの状態になっています。

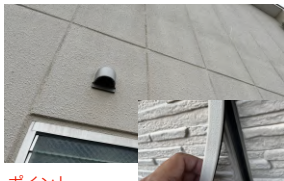
これは以前のキーキングに過疎剤という油が入っているものが抜けてしまった状態です。

成田塗装ではそのか『過疎剤』が入っていないコーキングを使用します。

ポイント

輪ゴムなどに過疎剤が入っていて、しばらく放っておくと割れてしまう状態になりますが、その状態と同じです。

過疎剤が抜けてしまうとスポンジ状態になりボロボロになるのです。



ポイント

サッシ周りなどのコーキングがボロボロ取れる状態の場合は奥の防水紙を傷つけない様に手などで撤去しますが、あえてカッターなどで無理やり撤去しません。

乾燥期間は夏場で2日程
冬場で5～6日程です。

ALCやパワーボードは比較的コーキングの施工数（m数）が長く金額的には不利ですが、とても大切です。

サイディングの場合も数量は多めですが、ガスケット（乾式）タイプとコーキング（湿式）タイプとがあり、その状況に応じて施工数が変化します。

配下などの貫通部分から
良く雨漏りするので
注意が必要で、しっかりと
コーキングするよ！



この工程が終われば次のステップ

4時間目

下塗り作業



屋根にも外壁にもこの下塗りが将来の長持ちの明暗を分けます。

下塗り選定のミスもダメです。サイディングやモルタルその他の壁にも下塗りを使い分けて塗り方も厚く多く塗る方法と、浸透密着を優先する塗り方と別れます。

まずここにお客様は注目してほしい！！これが成田塗装の願いです。

ポイント

下塗りは上塗りより厚く塗装できますが耐久性はありません。

ですので、このしっかりと塗膜をつけた下塗りを守ってあげる役目で上塗りを塗装して上げてください。

※屋根は下塗りを吸い込めさせて固め薄く多く塗装してゆきます。厚塗りし過ぎてはいけません。熱による膨れの原因になります。



お客様は上塗りに注目しがちですが、実は陰の力持ちとしてこの下塗り次第で、耐久性はもちろん、ひび割れに強くなるか？どうかも左右されます。

この下塗りをどう塗るか、を大切な事だと頭に入れておいてください。

細いひび割れもこの下塗りで消すように塗装します。

ポイント

隙間の空いたローラーでたっぷり塗装してその凹凸に更に下塗りを被せて行くことで厚い下塗りが完成します。

このように下塗りを2回繰り返すことで、塗膜が形成されて安心できる外壁になります。

シーラー 塗膜は無く密着優先
サーフ 塗膜は中で密着と塗膜のバランス型
フィラー 塗膜は多く厚く、密着とひび割れ防止優先

モルタル壁 ALCなど：厚く多く塗装

サイディング：薄く満遍なく塗装

いよいよ塗装の段階に入ってきたよ、白色に一旦全部塗って上塗りの準備開始



この工程が終われば次のステップ

5時間目

上塗り作業



下塗りが乾燥したら、いよいよ色のついた上塗りの塗装をします。丁寧に2回塗りで仕上げて行きますが、断熱ガイナなどの断熱塗装は3回塗装して塗膜を作っていきます。

色は乾く前と乾いた後で少し色が違って見えます。

ポイント

上塗りの同じ色をしっかりと2回もしくは3回塗装して行きます。

A液とB液を混ぜる分子反応で硬化する塗料と

空気中の湿気と反応して硬化する湿気反応硬化と大まかに2種類あります



近畿圏では塗装の季節は特にいつでも問題ありません。

塗料の特性の硬化方法が、ホームセンターなどの自然硬化と違い、どの季節でもしっかりと適切に乾いてくれるので大丈夫なのです。

ただし、雨、雪の日は塗装しません。

ポイント

塗膜優先で塗装しますので、なるべく厚く塗装するのですが、建築用の塗料は透湿性があるので少しゆず肌のような感じで仕上がります。

小さな穴みたいなものが見えますが、（目の良い人でやっとわかる程度）それは透湿性が理由です。

材料の厚めの箇所は若干シワの様な感じになりますが全く問題ありません

家がどんどん綺麗になってゆくよ！！
他のsみにしておいてね。



この工程が終われば次のステップ

6時間目

付帯部などの塗装



ポイント

お客様は意外と外壁ばかりに注目しがちですが、
こう言った付帯部も大切です。
外壁は綺麗だけど、付帯部が色あせ、剥がれ・・とならない為に
しっかりと施工します。



ポイント

洗い出しなどの基礎は塗装する必要はありません。
モルタルむき出しの基礎などは中性化防止の為に塗装すると、
見た目を綺麗にする為に塗装します。
色はグレーのみになります。
ついでに塗装するので費用はかかりません。

家には外壁の他に『付帯部』という場所があります。

金属部 木部 などその様な場所は下地処理としてサンドペーパーを当てた後に錆止め、上塗りの順で塗装しますが、成田塗装では**フッ素塗料**が標準ですので、外壁と付帯部が同時に長持ちします。

尚、アルミやステンレス、特殊な樹脂は基本的に塗装しません。

基礎の塗装や虫除けのコーティング、玄関天井の虫除けコーティングは、成田塗装の場合は**ついでに**塗装して行きます。

基礎の塗装は専用の通気型の塗料で外壁用とは異なります。
外壁も基礎も綺麗になるので完成度が変わります。

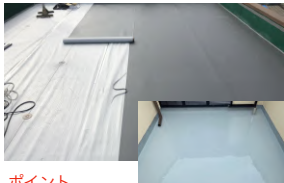
金属部分も木部も
綺麗になって、いよいよ
家が生まれ変わるよ。



この工程が終われば次のステップ

放課後

防水工事や最終確認



ポイント

防水箇所は常に濡れたり、歩いて摩擦の起こる場所ですので、ただ塗るだけではなくしっかりと工程の順番を得て防水層が完成します。

防水工事はおお客様の家のベランダなどの状態により種類が変わります。

- ウレタン塗膜防水(通気・密着) 2種類と
 - エンビシート防水 (通気・密着) などの各2種類です。
- 状態が悪く湿っているとセメント複合防水という防水方法もあります。



ポイント

検査の回数

担当職人の検査 1回

管理営業の検査 1回

瑕疵保険検査員の検査 1回

の合計3回の検査があります

この際に写真などを撮らせていただきます

いったん外したエアコンの配管カバーや、裸で痛んだエアコンの配管のテープを綺麗にして完成へ向かいます。
サッシ周りの塗装の線を綺麗にしたり、掃除したりして、最終的に3回の検査で終わります。

防水の種類は
担当者がしっかり状態を
見て決めるよ。



この様に様々な必須項目があります

丁寧に日数をかけて完成する 近所に差をつける外壁塗装



15年や20年に一回の
塗装工事なので、
『今』しっかりと
施工しよう！！



工事は約3～4週間程

予習と自習

気になる所メモ

お客様からの質問に成田塗装がお答えしますので
メモしておいてください。

むっちゃ好評につきオマケ継続

塗装の後のガラスコーティング

汚れに強く耐久性をプラス

外壁施工時に屋根施工分をオマケ

※塗装の屋根では無い場合も既存の屋根にコーティング可能

その名は、ビアンコート。



標準のシリコン塗装や
ガイナ塗装の後に最適

ビアンコートは



←ここで詳しく

近所に差がつく外壁塗装